

のうがくかい  
「なごやか農楽会」だより 73号

2023年2月（春）号



2022年度（22期生）修了式

- ◇ なごやか農楽会からのお知らせ  
～ 2023年度（22期）総会開催のご案内 ～
- ◇ 援農作業予定（3～5月）
- ◇ 援農作業実績（11～1月）
- ◇ 農家さん紹介／あいちの伝統野菜など

なごやか農楽会からのお知らせ

令和5年度（22期）  
なごやか農楽会総会のご案内

令和5年4月23日（日）総会開催

令和5年度（22期）なごやか農楽会総会を次のとおり開催いたします。

従来開催場所としている名古屋市農業センターが、リニューアル整備に向けた準備や工事により利用不可のため、「名古屋市中区土木事務所」にて開催します。

また、コロナ感染対策のため総会時間を分散（開始時間を午前、午後の2回とする等）して開催することとします。具体的には次頁をご覧ください。

なお、農業ボランティア育成講座（22期生）修了式が、2月4日開催され、修了生（30名）がなごやか農楽会に入会されます。

なごやか農楽会だよりは、名古屋市農業センターのご協力により発行しております。

# なごやか農楽会からのお知らせ

## なごやか農楽会総会 ご案内

1. 開催日：令和5年4月23日（日）
2. 時間：開始時間分散方式  
A（てんぱく、みどり支部） 10時～12時  
（受付9時30分～）  
B（もりやま、港・中川支部） 14時～16時  
（受付13時30分～）  
（総会閉会后、支部総会を行います）

3. 会場：名古屋市中区土木事務所3F技術研修室  
名古屋市中区千代田1丁目5-8

### 4. 交通：

地下鉄名城線「矢場町」下車 3番出口から徒歩15分  
地下鉄鶴舞線「鶴舞」下車 1番出口から徒歩15分  
※駐車場は利用できません。公共交通機関をご利用下さい。



5. その他：令和5年度なごやか農楽会の総会運営は会則に基づき会長が評議会に提案し評議会において審議の上決定させていただきます。

・当日は名札（修了証）を着用願います。

・総会直前の総会のご案内は行いません。  
（本日よりにてご案内に替えます）ご承知お願います。

（お願い）

・総会受付にて令和3年度会費1,000円をお支払いください。

・当日欠席の方は4月30日までに以下の口座へ振込みをお願いいたします。

振込先：ゆうちょ銀行振替（記号12100）

口座名：なごやか農楽会

種類：普通口座 番号68446931

（他銀行からは、店番218—6844693）

（注1）当日、総会受付で代理徴収が出来ます。  
（総会に参加されるお知合いの会員に会費をお預けし、お知合いの会員が代わりにお支払い頂く方法です。）

## 評議会報告

報告・審議・検討事項

11月度会議（11月12日開催）

（1）農業センターまつり出展について ちらし300枚配布。出展場所が昨年までとは変更になり、ブースに寄る人が少なかった。再来年は出展内容含め検討する。古いパネルがあるので、新たに作成を検討する。

（2）農家訪問（取材）について 日程を決めた

（3）第22期農楽会総会開催に向けてのスケジュールを確認した。来年4月以降は「農業センター」リニューアル工事で利用不可のため、総会開催場所を探す必要がある。

（4）HPについて

トップページに援農風景・実績を載せる。詳細は支部ページに。新たに「援農希望農家への発信」「ボランティア育成講座について」をページ追加。役割分担と情報入手方法について検討・整理する。

12月度会議（休み）

1月度会議（1月14日開催）

（1）育成講座（22期生）修了式等について。22期の修了生は30名。支部の内訳は、てんぱく支部4名、みどり支部6名、もりやま支部11名、港・中川支部9名。もりやま、港・中川支部の会員が増えている。2月4日午後1時から修了式、交流会。

（2）名古屋市主催の農楽会 会員 向け 研修会について（検討 段階）農楽会 会員向けに名古屋市主催で講座開催を検討している。定員を設定（1講座 25～30名程度で数回）する。

（3）第22期農楽会開催に向けてのスケジュール。・3月11日評議会で総会資料を確認。・会計監査は3月11日・3月25日 退会・休会者確定締切・4月8日評議会（開催場所未定総会資料最終版確認、第22期予算案承認）

（4）新HP運営について

今年度の運用開始は延期。HP運営委員会を立ち上げ、総会で委員会メンバーを募集。

☆（評議会議事録本文は、なごやか農楽会ホームページの会員のページにあります）

# 援農作業予定 (3～5月)

## てんぱく支部



タマネギ・ニンジンの収穫



3月  
ニンジン収穫  
トウモロコシ・枝豆などの夏野菜の定植

4月  
カボチャの定植

5月  
ブドウの花切り  
サツマイモ・カボチャの定植

## みどり支部

支部会員へのお願い

援農作業風景の写真を募集しています。  
農家さんにご迷惑をおかけしないよう事前に  
了解を頂いた上、休憩時間の前後の時間に  
撮って下さい。支部長と相談の上。

3月  
成田果樹園でみかんの整枝剪定  
永井トマトでトマトーン作業

4月  
深谷畑で耕運機を使用するの除草と畝立て作業

5月  
深谷畑でサツマイモ差し込み作業

# 援農作業予定 (3～5月)

## もりやま支部



アーチ屋根ビニール張り・ネット張り



3月  
野菜収穫、畑整理・片付け、草取り  
ぶどう皮むき、ブルーベリー剪定・植替え  
アーチ屋根ビニール張り

4月  
野菜収穫、畑整理・片付け、草取り  
ぶどう蔓切り・肩落とし、  
ブルーベリー鉢の植替え  
ネット張り

5月  
野菜収穫、畑整理・片付け、草取り  
ぶどう房作り、脇芽・蔓切り  
梅収穫、防草シート張り

## 港・中川支部



ナスの定植

3月  
トマト箱作り、ミツバの出荷調整  
トウモロコシ播種、ブロッコリー収穫  
ジャガイモ植付け、果菜類苗の鉢上げ

4月  
トマト箱作り、ミツバの出荷調整  
エダマメ・トウモロコシ・キュウリ・ナス・ピーマン  
などの夏野菜の定植

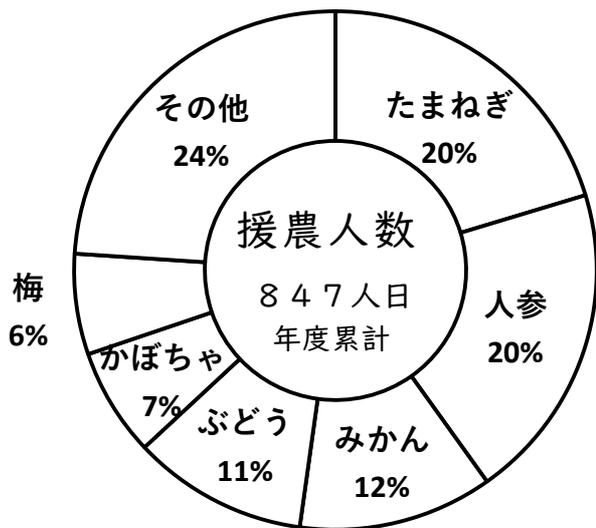


ブロッコリー収穫

5月  
トマト箱作り、ミツバの出荷調整、  
サツマイモの芽挿し、ジャガイモ収穫、  
エダマメの選別  
キュウリ・ナス・ピーマンなどのナス野菜の定植

# 援農作業実績 (11~1月)

## てんぱく支部



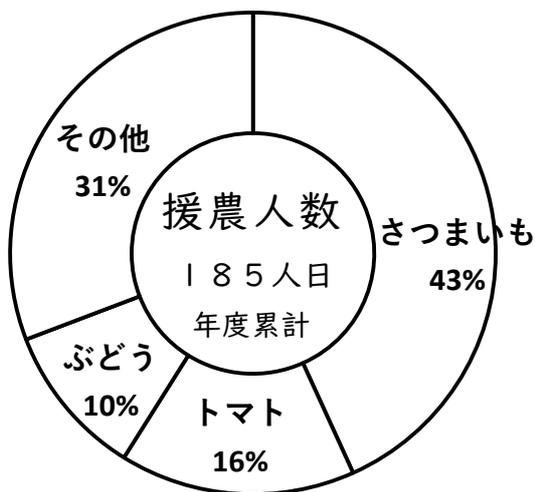
1人日=1人1日3時間の援農作業

三か月間(11月~1月)の援農実績は、277人日。  
 年度累計は、847人日。  
 三か月間の援農先は、7農家。

援農作業は、玉ねぎの定植、みかん収穫・選別・箱入れ、小松菜揃え、ぶどう・梅の剪定、人参切り等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 431人日  
 昨年度(4月~1月)の累計実績 874人日

## みどり支部



1人日=1人1日2時間の援農作業

三か月間(11月~1月)の援農実績は、64人日。  
 年度累計は、185人日。  
 三か月間の援農先農家は、5農家。

援農作業は、園児(年小・中・長)のさつまいも収穫手伝い、モモ剪定、ブドウ剪定・落葉片付け、野菜の収穫・袋詰め等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 130人日  
 昨年度(4月~1月)の累計実績 422人日

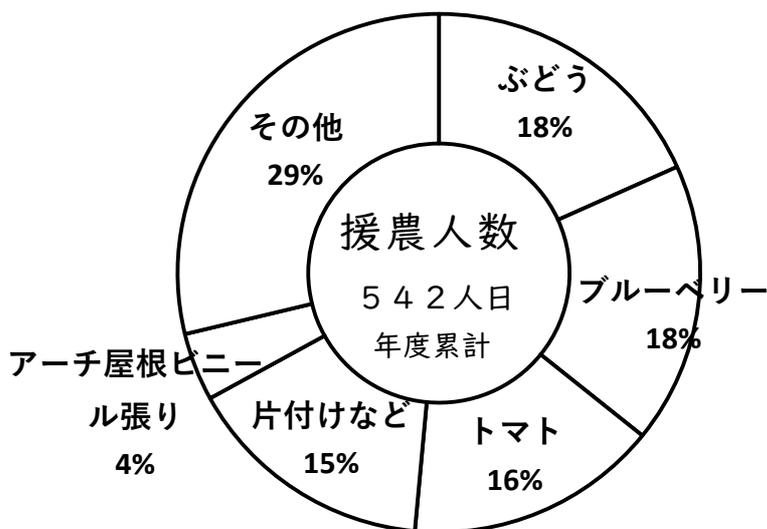
# 援農作業実績 (11~1月)

## もりやま支部

三か月間(11月~1月)の援農実績は、111人日。年度累計は、542人日。  
三か月間の援農先農家は、3農家。

援農作業は、ぶどう剪定・皮むき・枝切り・蔓切り、梅剪定、玉ねぎ・ニンニク・春菊・セロリ等植付け、ブルーベリー剪定等、さつまいも収穫、みかん収穫、注連縄作り準備、畑片付け等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 95人日  
昨年度(4月~1月)の累計実績 370人日



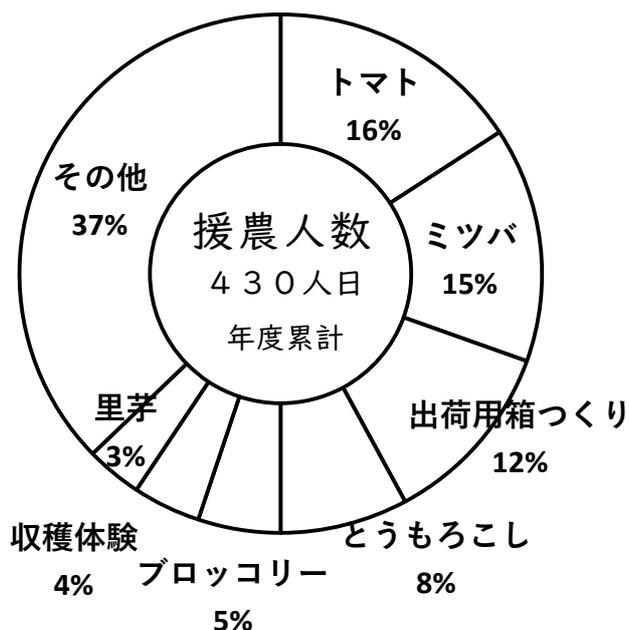
1人日=1人1日2時間の援農作業

## 港・中川支部

三か月間(11月~1月)の援農実績は、138人日。年度累計は、430人日。  
三か月間の援農先農家は、5農家。

援農作業は、サツマイモ掘り、ブロッコリー・里芋掘り・袋つめ、ミツバの出荷調整、トマト収穫・下葉とり・箱作り・落下トマト回収、野菜の販売補助、草取り等です。

昨年度(11月~1月)の援農実績 186人日  
昨年度(4月~1月)の累計実績 678人日



1人日=1人1日2又は3時間の援農作業

# 農家さん紹介

## プロフィール

今回は、天白区菅田町の森山茂雄さんを訪問しました。森山さんは退職後にお父様から引き継いだブドウ園(シャインマスカット、巨峰)を中心にブドウの繁忙時期と重ならないキャベツ、カボチャなどの野菜を栽培されています。



苗木から成長したもの、接ぎ木で成長したものが混在する、手入れの行き届いたブドウ園でお話を伺いました。ブドウ栽培の大まかな作業は、他の農家さんとほぼ同様の様子で12月からの元肥施肥、1~2月に剪定、3月から最も多忙となり枝の配置、5月頃からの花切、摘果、袋掛け、8月中旬からの収穫、販売です。

シャインマスカットは病気に弱く特に黒とう病が発生しやすいため、雨を防ぐための施工もされていました。

栽培の過程で最も大変な事は適期の作業、雨天等で作業が遅延すると出来が悪くなるとのこと。運営は森山さんご夫婦と叔父様や叔母様に協力いただいているとのこと。

収穫物は近くの販売所での直販が中心で、開店後1時間程で売り切れるほどの人気です。お客さんから「おいしかった」などの声が嬉しく励みにもなりますと、笑顔でお答えくださいました。一方で昨年と比べて・・・の声もたまにあり、生産者が気づかない、消費者の敏感さに感心すると同時に気候などの問題もあり原因究明は困難とおっしゃりつつも日々、研究されている様子が窺えました。

周囲に新しい住宅が建設されるなか、ブドウ園も三か所に分散しており、都市農業の大変さも感じました。

元々、農家の後継者になるとは思っていなかったが状況が変わり継ぐこととなり、叔父さんから指導を受け、自身も勉強を重ね今日に至っているとのこと、謙虚な話の中にブドウ栽培への静かな情熱を感じました。

## はじめよう！ 家庭菜園(\*1)

今月号は摘果です。

### 1. 摘果って何？

摘果とは、未成熟の実を摘み取る剪定作業の一つ。実がまだ小さいうちに、生育の悪い実や増えすぎた実を摘み取って残した実に栄養を十分に与え、株への負担を減らす作業です。

### 2. 摘果のメリットって？

- ・株の生長を促す
- ・実つきを良くする
- ・残した実の品質を向上させる



### 3. 摘果の役割って？

野菜の実は種子を守りながら成熟しますが、葉と違い自ら栄養分を作り出すことはできません。そのため、実の数が多ければそれだけ野菜の内部にある栄養分が分散して消費されることになります。つまり摘果とは実が成熟する前に適切な数の保っておくことによって、根から吸収された栄養分などを実に十分行き渡らせ野菜の質や量をコントロールするための大事な作業なのです。

### 4. 摘果した方が良い野菜って？

トマトやスイカなどの野菜に対して行います。今回はトマトについて紹介していきます。トマトは大玉、中玉、ミニトマトの3種類に分けられ、それぞれの品種ごとに摘果が必要かどうか差があります。

(大玉)	(中玉)	(ミニトマト)
必要です。摘果しないと生育後期に入ってから花付きや着果率が悪くなってしまう可能性が高いです。	品種や草勢によって摘果の判断をしましょう。摘果することにより中玉として十分な大きさに育てることができます。	基本的に不要です。しかし、花房の先端部分は根元近くに比べて開花が遅れるため、たいてい着果も遅れてしまいます。着果が遅れた実はさほど大きくなり赤くなってしまいうため、その部分を摘果してしまう場合もあります。

(\*1) はじめよう！家庭菜園は、なごや農業協同組合様が発行されるCITYなごやに掲載されています。なごや農業協同組合様のご承諾を得て、掲載しています。

# あいちの伝統野菜

今月号はネギです。  
ねぎは中国西部あるいはシベリアが原産とされています。  
ねぎより草丈が低く小さい球を作るアリウム・アルタイクムが原種とされています。  
礼記などの古い書物から紀元前200年ほど前には既に中国で栽培されていたことは確かです。  
ヨーロッパには16世紀末、アメリカには19世紀に伝わりましたが欧米ではあまり普及せず、東洋、特に日本で多く栽培されています。  
江戸時代の農書「農業全書」では冬のを大葱、春夏のを小葱といい、春夏のネギは、株分かれすることを記述し、刈葱と分葱にもふれています。重要な野菜として全国的に栽培されていました。



次号はキャベツを紹介します

ネギは変異性がそれほど強くないので、古い野菜の割には品種数が多くありません。  
それでもかなりたくさんの品種や変わりものがあります。  
中国から日本に渡来した際すでに太葱（根深葱）と葉葱とに分化していたとみられています。  
葉葱は、耕土の比較的浅い関西を中心に西日本で多く栽培され、その他の地域では耕土の深い場所で、根深葱が多く作られ、東日本では株分かれしない一本葱が栽培されています。  
名古屋付近では両群の中間型の株分かれはするが白根の長い越津葱が親しまれています。

## 代表的な品種

### ・九条葱

葉葱の代表格は九条葱で、京都市下京区東九条の産といわれています。江戸時代の農書に九条葱の名は見られないので、おそらく明治、大正の頃産地の地名から九条葱の品種名が生まれたものでしょう。  
九条葱には浅黄ダネと呼んでいる葉の淡緑色の系統と黒ダネまたは太葱と呼んでいる系統とがあります。

### ・千住葱

関東地方は昔から根深葱の産地で、江戸時代の書物に岩付（埼玉県、岩槻）の産を良品とし佐野、足利、日光あたりも良品が出ると記されています。

現在でも深谷付近など関東地方には葱の産地が多いです。  
根深葱の代表格が千住葱で、いくつかの系統が分化し、冬でもよく伸び葉が淡緑色で多少株分かれするものを千住赤柄、葉の色が濃緑色で秋から冬の生長はやや劣るが夏から出荷できる一本葱を千住黒柄と呼び、両者の中間的なものが千住合柄です。  
現在わが国で栽培されている根深葱の多くは千住系の血を引いている品種です。

越津ねぎと法性寺ねぎが愛知の伝統野菜に選ばれています。



越津（こしづ）ねぎ

分けつ性が高く、葉と軟白とも食用にできる。  
分けつが4～5本になり葉の色はやや淡く、柔らかい。



法性寺（ほっしょうじ）ねぎ

京都の九条ねぎに似ている。  
甘く味が濃くて柔らかい。  
太くなると分けつし、ねぎぼうずができにくいため、株分けて維持されている。

写真：あいち在来種保存会・「あいちの伝統野菜」畑から(ブログ)

## 参考文献

日本のふるさと野菜（一般社団法人日本種苗協会発行）  
日本の野菜文化史事典（青葉高著 八坂書房2013）  
あいち在来種保存会  
愛知県HP愛・地産・アラカルト  
（農業水産局農政部園芸農産課）

## 編集後記

農業センターしだれ梅まつりは2/23（木・祝）から3/21（火・祝）に行われます。農業センターはしだれ梅まつり終了後から2023年9月までリニューアル工事のため休園されます。このため、今年は農業ボランティア育成講座は実施されません。今年の総会会場は、名古屋市中区土木事務所分割開催で行われますが多数の参加をお待ちしています。コロナ後の日常がもどりつつあり、季節も暖かくなり援農により季節です。援農に取り組んでいきましょう。

発行 **なごやか農楽会事務局**（水野・佐藤） 令和5年2月25日発行

なごやか農楽会は、名古屋市内の農家のお手伝いを主な活動とする農業ボランティアグループ。

会員は、全て農業ボランティア育成講座修了生です。